

2025年度共同利用研究報告書

2025年09月04日

所属・職名 九州大学 大学院数理学研究院・助教

後藤 佑一

		整理番号		2025a010	
1.研究計画題目	Fukuoka Statistics DS workshop 2025				
2.新規・継続	新規				
3.種別	若手・学生研究				
4.種目	研究集会（Ⅱ）				
5.開催方法	対面開催				
6.研究代表者	氏名	後藤 佑一			
	所属 部局名	九州大学 大学院数理学研究院	職 名	助教	
7.研究実施期間	2025年06月22日(日曜日)～2025年06月23日(月曜日)				
8.キーワード	数理統計学、時系列解析、グラフィカルモデル、多変量解析、空間統計				
9.参加者人数	20人				

10.本研究で得られた成果の概要

本ワークショップでは、日韓の若手研究者を中心とするメンバーによる国際ワークショップを開催し、統計学の幅広い分野に関する最新の研究成果について活発に議論した。全10件の口頭発表では、多変量解析、時系列解析、ベイズ統計、空間点過程、因果探索、医学統計など、理論と応用の両面にわたる多様なトピックが取り上げられた。特に、学生による初めての英語発表も多く、国際的な発信力の醸成にも寄与した。講演後のオープンディスカッションでは、整数値時系列モデルとDAGモデルの構造的な類似性が明らかとなり、分野横断的な理論構築の可能性が見出されたほか、測定誤差モデルや関数空間における統計的"推測の方法"についても、今後の共同研究に発展しうる有意義な議論が交わされた。

ワークショップを通じて新たな共同研究の構想が生まれ、これを基にした実データへの応用や理論的な発展が期待される。また、得られた研究成果は、異常検知や要因分析といった実務的課題に対する統計的アプローチとしても有効であり、製造業をはじめとする産業界への応用可能性も高いと考えられる。さらに、日韓の若手研究者間における継続的な交流と連携をさらに発展させる契機として、今後の国際共同研究を進めるうえで重要な役割を果たすものである。

報告書は2029年4月に公開予定